

落合消防年表

年号	月	事項
明治17年		落合村私設消防団を設置(四部制、組員60名)組長に磯村八十七就任する。 手押しポンプ(竜吐水)を2台購入する。
明治18年		隣接中津町火災に際し、落合村消防組腕用ポンプを利用し、消火に務め、隣家の類焼を防ぎ、その威力を発揮
明治23年		落合村私設消防組維持困難のため、解散となる。
明治24年	4月	境の沢山林火災により、9.9ヘクタールを焼失する。
明治26年	4月	大久手山に山火事があり、大久手・新茶屋109メートル、1.5ヘクタール焼失する。
明治27年		平石用水路完成する。(延長4.4キロメートル、工費500円)
明治29年	2月	公設消防組が設立され(二部制180名)、組頭に鈴木清通就任する。 腕用ポンプ2台購入し(1台45円)各部に1台ずつ配属する。
明治32年	2月	組頭鈴木清通退任し、上田政一就任する。
明治33年		落合町(本陣付近)にポンプ格納庫を建設する。
明治35年		下落合に通じる丸根用水完成する。
明治36年	5月	上の山用水完成する。
明治36年		横挽用水路完成する。
明治40年		与坂にポンプ格納庫建設する。
明治43年	12月	上町に火災があり、一戸全焼する。
明治44年	1月	山の田に火災があり、二戸全焼する。
大正5年		落合消防組、岐阜県知事より感謝状を受ける。
大正6年	1月	組頭上田政一退任し、鈴木隆三就任する。 組織変更により、二部制を三部制に改め、組員215名となる。
	9月	大久手に火災があり、組員170名が出動する。
大正7年	3月	春季演習の際、中津消防長の要請により、中津町へ出動し、機械器具の使用および楷梯登りの演技をする。
	5月	坂下町本町の火災に組員137名出動する。 与坂および役場下のポンプ置場を建て替える。
	9月	神坂村字清水の火災(八戸焼失)に組員145名出動応援する。 与坂で火災(一戸全焼)に組員158名出動する。
大正8年	2月	山の田で火災、出動準備中鎮火。
	4月	坊主平山林火災、組員出動し9.9ヘクタール焼失する。
	10月	落合下町で火災、(三戸焼失、2戸半壊)出動組員201名。消火後中津町消防組の応援を受ける。
大正9年	3月	中津小学校の火災に組員が応援出動し、郡役所の土蔵への延焼を防止する。
	4月	大久手用水路完成(延長8キロメートル、工費29万円)
大正10年	2月	中津町本町で火災、4戸焼失(応援出動組員193名)
	3月	恵北六ヶ町村連合演習(中津町)に組員214名参加する。
	5月	大阪市の鈴木製作所より、ガソリンポンプ(14馬力)1台を購入する(2500円)。
大正11年	3月	落合下町で火災、1戸全焼、1戸延焼(出動組員226名)。
	7月	落合村自警団の発会式を行う。
	9月	岐阜県消防協会の囑託により、防犯映画の撮影を落合村において実施し、組合員全員活動する。
	12月	組頭鈴木隆三退任する。
大正12年	1月	可知利三郎組頭に就任する。 火災予防の宣伝標語・歌の募集をする(応募273点)
	6月	苗木町瀬戸で火災(応援出動組員180名)。
大正13年	2月	苗木町瀬戸で火災(応援出動組員130名)。
	3月	大久手に火の見やぐら(木柱)を建設する。 中津町における連合演習に組員208名出動参加する。 組頭可知利三郎退任する。
	4月	田中で火災、類焼1戸(出動組員256名)。
	5月	山の田で火災、1戸全焼(出動組員203名)。 苗木町瀬戸で火災、1戸全焼(出動組員212名)。
	12月	中津町柴町で火災、8戸全焼(応援出動組員195名)
大正14年	1月	組頭に井口好澄就任する。 向山で火災、1戸全焼(出動組員200名)。 組員総会を開き、規約改正及び役員選挙を執行する。
	4月	腕用ポンプを2台購入する。
	8月	下落合に鉄塔火の見やぐらを鉄工金丸の寄贈により建設する。
	10月	落合小学校校庭に鉄塔火の見やぐらを鉄工金丸の寄贈により建設する。
大正15年	1月	平石に火の見やぐら(木柱)を建設する。